



Het Jonge Schaap 製材所

Kalverringdijk (Zaanse Schans) の Het Jonge Schaap キャップ ワインダー製材所は協会の最新の施設です。旧 Westzijderveld のこのミルは1942年になくなりました。再建はコンピュータ技術を使用してミル専門家の Anton Sipman (1906-1985) の図面に基づいて開始しました。

最初の杭が数年の準備後2005年9月24日に地面に打ち込まれました。ミルはちょうど2年後の2007年9月24日に開きました。

風力を利用して木材を切る方法を発見した Uitgeest の Cornelius Cornelisz でした。彼は杵のこを駆動するためにクランクシャフトをはじめて使用しました。

この最初の製材所、小さなモデルは Het Juffertje (イトトンボ) と命名され、筏で Zaandam に輸送されました。

2種類の製材所がありました。一方で羽目板木びきは羽目板と呼ばれるものを製作しました。壁や船のパネルに使用される上質の樫の木のタイプです。木挽きの人は、一方では、のこぎりの粗いタイプである、角材や厚板をもっぱら切ること、忙しくしていました。



DE ZAANSCH E MOLEN

Zaan 地区を世界最古の産業地域にしていた1000もの風車のうち、1920年頃にはちょうど50しか残っていませんでした。これらを後世に保存するために、オランダ水車協会 (Vereniging De Zaanse Molen) が1925年3月17日に設立され、現在では13の産業用ミルが、最適な状態に保たれ定期的に動いています。

1928年にこの協会はユニークな水車博物館を設立しました。訪れる価値は十分あります。(産業用) ミルの操業および歴史に関して知りたいことをすべて網羅しています。また臨時の展示が定期的におこなわれています。

www.zaanschemolen.nl をご覧ください。



For all information about our mills and mill museum, opening hours, group visits and entrance fees:

www.zaanschemolen.nl

Het Jonge Schaap 製材所

Kalverringdijk 31a, Zaanse Schans, 1509 BT Zaandam
電話 +31 (0)75 6401377, E-Mail: houtzaagmolen@hetjongeschaap.nl
facebook.com/hetjongeschaap

HET JONGE SCHAAP

Kalverringdijk, Zaanse Schans,
Zaandam
にあるキャップワインダー製材所
Anno 2007

ご注意ください!
ご自身の責任においてこの水車をご覧ください。
喫煙やバリアの後ろに移動しないでください、
そして可動部分に注意してください!
ご協力ありがとうございます!



DE ZAANSCH E MOLEN

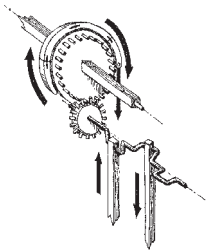


Japan

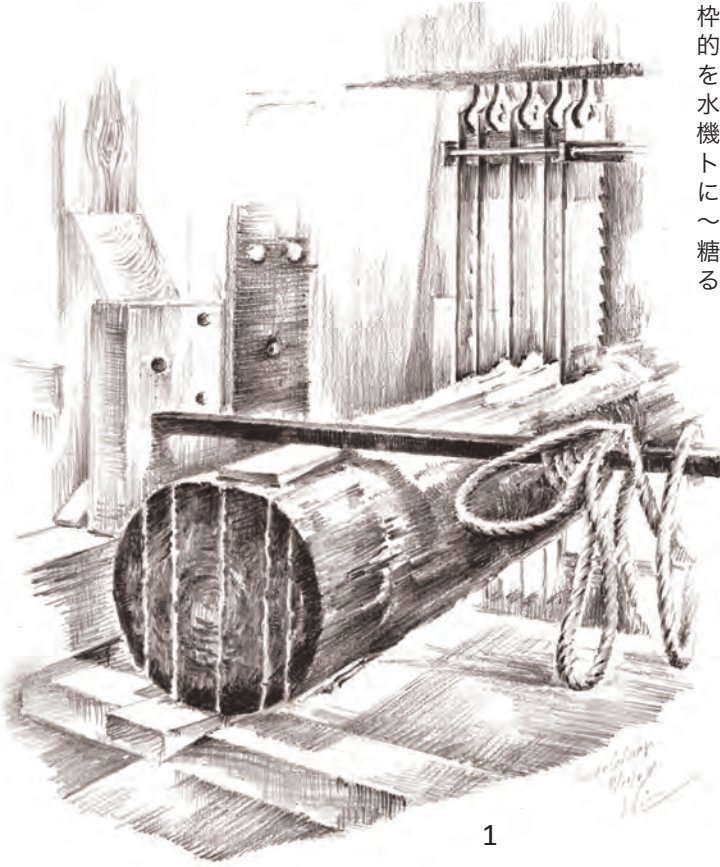
無料の電力を使用して角材をのこぎりでひく



この水車場は、キャップ・ワインダーです：キャップだけが、いわゆるキャプスタンホイールのウインチによって風の中で回ります、そしてそれはプラットフォーム（バルコニー）で動作します。



羽根の回転水平運動は、上部ホイールとホイールウインチで垂直に上下ソーイング運動をして、クランクシャフトを経由して切り替わります。ミルを停止するための木製のブレーキはキャップの上部ホイールに配置されています。



Het Jonge Schaap はキャップ・ワインダー製材所です。

製材所の最も重要で明白な部分は、上下に移動する枠のこです（図面 1 を参照）。

約1ミリメートルが、各ソーイング運動によりのこぎりで切られます。

枠のこの右側にある、大きな鉄ホイール、ラチェットホイールが、トランクが枠のこの向こう側にあるキャリッジを引っ張ります（図面 4 を参照）。

これらの枠おさのこの刃は、必要とされるほとんどの幅でも挿入することができます。

他のものは1つか2つなのに、時には、枠のこには10または12の刃があります。

角材または小角材は後者の場合のこぎりで切られます、すなわち、厚板はまっすぐになります。

巻き上げ機

枠のこ以外の様々な他の部分は風力駆動です。1つ独創的な構造は、ミルの天井の巻き揚げ機です。（図面 2 を参照）

水中でミルの周りに横たわっているトランクは巻き揚げ機によってミルに引っ張られます。

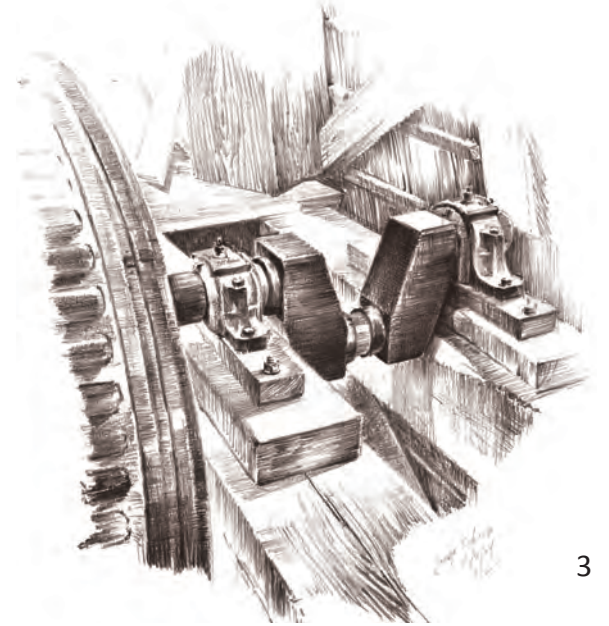
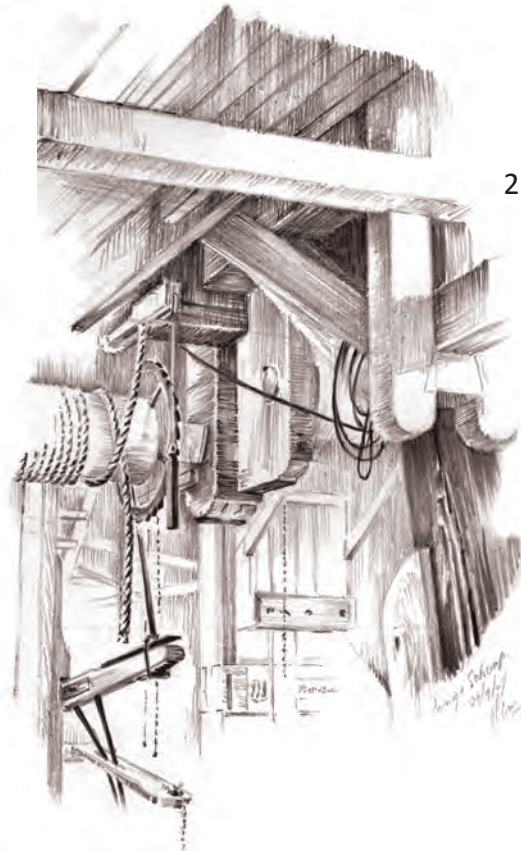
トランクは品質を向上させるために水に横たわったままにされています。

～5年の間水にトランクを浸しておくことによって、糖分や成長樹液が木から引き出され、その後鋸を使用する時に曲がりやひび割れを少なくします。

クランクシャフトのあるミル

ミルのかなり高い所で、ギアトレインは枠のこを駆動するために風力を使用可能なエネルギーに変換します。大きな上部ホイールは、直立シャフトを介してホイールウインチへ運動を変換します。

（図面 3 を参照）これによってクランクシャフトを動かし、このように上下にのこぎりフレームを動かします。



生産と仲間

産業用ミルのピーク時には、200 を超える製材所が Zaan 地区にありました。

景気が良い時には、彼らは一生懸命働き、1日に20もの丸太を鋸で切ることができました。製材所には、早朝から夜遅くまでしばしば宿営する5人の人々が勤務していました。

